

北海道の寒さも楽しむ！？ 冬の大雪山2大イベントを見学してきました！ ～層雲峡氷瀑まつり&旭川冬まつり～

中部国際空港から大雪エリアの玄関口、旭川空港まで1時間50分。一つ目のイベント「層雲峡氷瀑まつり」会場までは車で約1時間30分です。

「層雲峡氷瀑まつり」は、大雪山国立公園最大の温泉郷である層雲峡温泉街のすぐ側、石狩川の河川敷で行われています。会場内にはまさに凍った滝をイメージした大きな氷柱、氷のトンネル、氷のドームが並び、夜にはそれらが色とりどりにライトアップされ、幻想的な氷の世界が浮かび上がります。今年のメインの建造物は「チャペル」をイメージしているそうで、期間中にはそこで結婚式を挙げる「氷瀑ウエディング」も行われるそうです。他にも花火や餅つき、お楽しみ抽選会など約一ヶ月半の間、様々なイベントが行われます。

氷の世界を楽しんだ後は、層雲峡温泉でゆっくり温まりましょう。



まず丸太で骨組みを作り、そこから糸をたらし、噴霧上にした水を吹きかけて作っていくそうです。今年は暖かい日が多く、作業も難航したそうです。



☆☆☆ライトアップされると氷の白さ・透明感と相まって色のグラデーションがとても美しかったです☆☆☆



氷の滑り台。チューブを借りて滑ることが出来ます。



会場内に神社も出現！中にはお賽銭をこんなところにくっつけていく人も...



宿泊先は層雲峡温泉の「ホテル大雪」。温泉街の高台に位置し、見晴らしの良さと3つのかけ流しの大浴場と2つの露天風呂が自慢のお宿です。

今回は昨年4月にオープンしたばかりの西館5階特別フロア、「雪ほたる」に泊まりました。畳敷きの床にベッドが置いてある和洋折衷のお部屋です。お部屋からは雪に覆われた山々や氷瀑まつりの会場も一望することが出来ました。

また、展望大浴場からも同様に、夜はライトアップされた氷瀑まつり会場、朝は眼前に広がる大自然、と絶景を楽しめます。

お食事は北海道のおいしい食材を生かした会席料理で、北海道の味をたっぷり満喫しました。

(※眺望・食事内容は、お部屋タイプ・プラン・季節等によって異なります)



お部屋、お風呂からこのような絶景が！



2つ目のイベントは旭川市内で開催されている「旭川冬まつり」です。今年は50回の記念イベントとなっています。札幌の雪まつりが大々的に紹介されるのに対し、なかなか知名度が上がってないですが、こちらでもギネスに載る（第35回の「水源城」がギネス記録を更新）ほど大きな雪像が作られます。今年、会場にはメイン雪像の「雪だるま城」、サブ雪像として「仲よし動物すべり台」、第1回の時のメイン雪像だった「名古屋城」が復刻登場しています。これらの雪像に使われる雪の量はなんとトラック6000台分にもなるそうです！しかもすべて市内の除雪された雪を使っているとのこと。ひと冬にそれだけの雪が降るということにも驚きますね。

今年は50回記念ということもあり、期間中毎晩花火が打ち上げられるそうです。大雪像と花火のコンビネーションは札幌雪まつりには無い魅力となっています。そしてもう一つ。実はメイン雪像に上れるんです！雪像の大きさを体感出来るのも「旭川冬まつり」ならではの、です。

「冬まつり」と同時に、氷彫刻と雪と光を組み合わせた「あさひかわ雪あかり」、世界一流の氷彫刻家が2昼夜をかけて作品を作り上げる「氷彫刻世界大会」も開催され、ぶらぶら散策しながら冬ならではの祭りを楽しむことが出来ます。

大雪像と花火の競演



ステージでは連日各種ライブやショーが催されます。



復刻！名古屋城



雪だるま城に大接近！上から外を見渡すと。。。

「あさひかわ雪あかり」のメインオブジェ&氷像。大きなランプシェードのように淡いあかりがともりました。



メイン会場周辺、可愛らしい雪像が並びます



出店もお祭り気分を盛り上げます。



「氷彫刻世界大会」作品作り開始！氷の解けにくい夜の作業が中心となります。どんな作品が誕生するのでしょうか...



市内の通りではこんなかわいい雪だるまもお出迎え。その一角にはなぜか大量の雪だるまが！謎です...



冬のイベントとは違いますが、旭川と言えば「旭山動物園」。こちらも冬バージョン「雪の中の動物園」として、冬ならではの動物たちの動きを見ることが出来ます。中でも一番の人気は「ペンギンのお散歩」。ペンギン館から歩道をぐるりと一周して戻って来ますが、歩道の脇からその様子を間近に見ることが出来ます。よちよちと歩いて行く姿がとっても可愛らしかったですよ！その他「ほっきょくぐま館」、「あざらし館」はやはり大人気で長蛇の列が出来ていました。



こんな風にお客さんの方へ近づいて行く好奇心旺盛なペンギンも。



旭山動物園東門の向かいにある「旭山雪の村」では、スノーモービルやスノーバナナなどスノーアトラクションも楽しめます。

レストハウスでは北海道名物ジンギスカンを是非。



《旅の服装ワンポイント》

地球温暖化の影響で、旭川周辺でも年々暖かくなってきているようですが、それでも連日氷点下の日が続きます。コートの下はニットを含めた重ね着がおすすめ。そしてマフラー、手袋、帽子など小物類も必須です！特に足元は、雪の上を歩いたりするとジンジン冷えてきますので、靴下を重ね履きたり、中敷を敷いたり、靴用カイロを入れるのも良いかもしれません。靴も底が滑りにくいもの（スノーシューズがあればベスト）を選びましょう。ゴム製の滑り止めをはめても良いですね。